

# 駒ヶ根民報

No.1383

2017.6.25  
日本共産党  
駒ヶ根市委員会  
Tel 83-2969

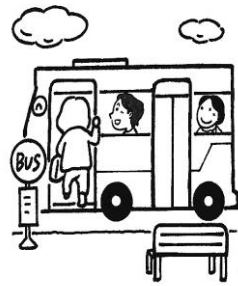
○**地域公共交通に路線バス延伸構想検討を**  
 ○**地区別の将来人口減少の対応策との関連**  
 ○**臨時・非常勤職員任用の課題は**  
 坂本やすひこ議員の一般質問

坂本やすひこ議員は6月13日に、地域公共交通の改善と市の非常勤職員の待遇改善の課題について質問しました。駒ヶ根市消費者の会の方々など傍聴されていました。

## 地域公共交通に、ロープウェイ路線バスの延伸の検討を

問 地域公共交通の課題として、現在ある、JR飯田線、路線バス、こまタクそれぞれの機能を生かすとともに、現在運行している駒ヶ根ロープウェイ線路線バスは市内唯一の路線バスであり、生活路線を含めた拡充の検討をさらに進めていくことを提起したい。

**中心市街地 活性化のためにも**  
 中心市街地に人の流れを創



り出すことは地域公共交通の充実がかかせない。以前の市内循環バス、こまちゃんバスは郊外と中心市街地を結ぶ公共交通機関として、高齢者や交通弱者等市民の足の確保と中心市街地活性化を目的に運行していた。人が集まり、にぎわい、ふれあいの交流をする街づくりのためにもこまタクだけの施策ではカバーしきれない。

## 観光地への公共交通 アクセスでも

駒ヶ根インター、駒ヶ根高原カッパ館、シルクミュージアム

等、公共交通でアクセスすることが出来れば観光の市内周遊ができるようになります。こまちゃんバスの単なる復活という事ではなく、現在の路線バス駒ヶ根駅から継続して、生活路線、観光利用につなげられないか。

## 地区別の将来人口、減少への対応策としても

こまタクは毎日運行になり改善もあるが、こまタクだけで完結できないこともある。駒ヶ根駅が終点になっている路線バスを、駅を起点に延伸して、下平、中沢・東伊那方面に、カッパ館やシルクミュージアム、こころの医療センター駒ヶ根経由で駒ヶ根駅まで。

もう一つは町部の東地域、市場割、上赤須(赤須タウン)に幹線バスの構想の検討を進めてはどうか。こまタクだけでは現実ではカバーしきれない現実の中で、改善を進めながらも今ある路線バスの拡充強化の考えを聞く。

## 現時点はこまタクのしくみを定着させる

市長 ロープウェイ路線バスは、観光の1交通としてだけでなく地域生活の足として検討したい。都市と他の連結強化はこま

タクシステムを充実していく。ロープウェイ線の竜東地域への延伸は、生活路線が実際の程度の利用あるかが課題でニーズに合わない。単にバスを走らせても以前と同じになつてしまう。

## 今後社会変化の中で 検討していく

しかし今後人口減少や社会変化、利用者ニーズの中で検討を進めて行く

## 地方公務員の臨時・非常勤職員課題への対応

問 駒ヶ根市の臨時・非常勤職員は増加している。正規職員は減少してこれ以上は限界。地方公務員法は正規職員を前提にしているが低賃金、不安定雇用が増え社会問題になっている。

## 同一労働同一賃金に

同一労働同一賃金からも格差の是正が必要。基本給、手当が違う、同じ職務や責任を担っている人には同じ賃金が原則に近づけるかどうか。駒ヶ根市の非常勤職員の84%は女性で、割合が高く男女間の賃金格差の一因となっている。市としての改善の方向は

どう考えているか。

## 処遇改善に 取り組んでいく

市長 地方自治法改正により非常勤職員の採用方法、処遇、手当の支給など勤務条件の確保が盛り込まれた。

勤務形態見直しが必要。今後非正規職員の処遇改善、男女共同参画視点に、性別、職種によらない雇用の均等にに取り組んでいく。

## 議員団

## 就学援助、入学準備金の支給時期と金額改善

一般会計補正予算で、入学準備金の前倒ししての支給が来年度新入生から始まります。今までは4月に申請して7月頃に支給時期でした。来年度は入学前の2月に申請して入学時に間に合うようにしました。また支給額も今年度から、小学生は現在の2万4700円から4万6000円に、中学生は2万3550円から4万7400円になります。予算の補正額は小学生が171万円、中学生が213万円増額するものです。共産党議員団は先進地の行政視察を踏まえ一般質問などで改善を提起してきました。